

ぎ か い の 杜

CONTENTS

6月定例会の審議	……P2～3
常任委員会審査報告	……P4～5
一般質問	……P6～10
政務活動費の公表	……P10
第3回臨時会	……P11
議員表彰	……P12

NO.75 令和4年8月1日号

6月定例会などの内容をお伝えします。





6月定例会の主な議事

- 北秋田市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について
- 令和4年度一般会計補正予算
- 令和4年度各特別会計補正予算
- 令和4年度各事業会計補正予算
- 財産の取得について
(災害対応特殊救急自動車)
- 字の区域変更について
- 北秋田市監査委員の選任について

令和4年 6月定例会

令和4年度一般会計予算

1億9560万4千円を追加



令和4年北秋田市議会6月定例会は、6月16日から6月28日までの13日間の会期で行われました。

今定例会では、条例案1件、補正予算案10件、単行議案3件、陳情5件について審議し、陳情1件を不採択、そのほかの議案と陳情は、いずれも可決及び採択としました。

また、最終日に追加提案された北秋田市監査委員の選任と発議案4件については、いずれも同意及び可決しました。

▼令和4年度一般会計補正予算

今定例会に上程された令和4年度一般会計補正予算は、1億9560万4千円を追加し、総額は228億5960万円となりました。

主な事業とその予算額は下記のとおりです。

主な補正予算	予算額
コミュニティ助成事業補助金	10,200千円
公共交通事業者事業継続支援補助金	3,800千円
観光交通事業者等事業継続支援事業補助金	1,150千円
保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業	12,683千円
地域商業等活性化支援事業補助金	6,000千円
新たに事業拡大する誘致企業に対する助成	17,938千円
児童クラブ支援員等処遇改善臨時特例事業	6,516千円

人事案件

監査委員(議員選出)

〈新任〉佐藤 光子 議員

議会見学

清鷹小・阿仁合小・大阿仁小

6月20日に清鷹小学校、28日には阿仁合小学校と大阿仁小学校の児童が市役所を訪れ、傍聴席から本会議を見学したり、議会事務局職員から説明を受けるなどし、議会の役割などについて学びました。



傍聴席から見学(6月20日)



説明を聞く児童(6月28日)

賛否が分かれた議案等の表決状況

○：賛成 ●：反対 ▼：欠席もしくは退席 除：除斥

所属会派・議員氏名 採決結果	採決結果	清明会					新創会			日本共産党 議員団		未来 きたあきた			公明党	無会派			
		小笠原 寿	佐々木 正史	松橋 久敏	堀部 壽	中嶋 洋子	長崎 克彦	佐藤 文信	虻川 敬	杉淵 一弘	佐藤 重光	板垣 淳	三浦 倫美	久留嶋 範子	佐藤 光子	永井 昌孝	五代儀 義富	福田 牧子	福岡 由巳
【令和4年6月定例会／令和4年6月28日採決】																			
陳情第3号 沖縄を「捨て石」にしない 安全保障政策を求める意見 書の提出を求める陳情	一部採択	否決	●	●	●	-	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	○
	原案	不採択	●	●	●	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※議長は、過半数で議決すべき場合「議員として議決に加わる権利を有しない」とされているため、採決には加わりません。

賛成討論 **福岡 由巳 議員**

陳情は安全保障政策の基地の在り方として、沖縄を「捨て石」にするような70%以上の米軍専用施設は、日本国土の防衛上からも問題であり、陳情1、2は採択すべきである。

賛成・反対討論

▼陳情第3号

陳情の一部を採択（一部採択）し、一部を不採択とすることについて

賛成討論 **板垣 淳 議員**

この陳情は、辺野古新基地建設を中止し、それを「本土」に持つてくることを求めるものであるが、前者だけ賛成。新基地に反対する沖縄県民の願いに我々も寄り添うべきだ。

陳情第3号に一部採択の動議

陳情第3号の審議では、議員から3項目に分けられた要望の中の2つを採択し、1つを不採択とする一部採択の動議が出されました。

一定の要件を満たし、動議が成立したことから、引き続き、一部採択とすることについて、討論及び採決を行った結果、賛成少数でこの動議は否決となりました。

皆さまからの請願・陳情と意見書提出

件名	請願・陳情者氏名	結果	意見書
森吉山荘の営業継続を求める陳情	阿仁前田地区地域活性化推進協議会 会長 桂瀬自治会長 白沢光慶 副会長 新屋布自治会長 大淵邦三 副会長 惣内自治会長 金沢照男 前田地区商業会 会長 柴田 裕 前田駅前商店会 会長 矢郷康之 森吉山麓村おこし会 会長 池田文明	採 択	-
教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるための、2023年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	秋田県教職員組合 執行委員長 櫻田憂子	採 択	提出
沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情	辺野古を止める！全国基地引き取り緊急連絡会 兵藤知子	不採択	-
地方財政の充実・強化に関する意見書提出についての陳情	連合秋田大館鹿角地域協議会 議長 山内 一滋	採 択	提出
「水田活用の直接支払交付金」の見直しについての陳情	農民運動秋田県連合会 委員長 小林 秀彦	採 択	提出

総務文教常任委員会 雪害の共済金は100%充当

【委員長】小笠原 寿 【副委員長】五代儀義富 【委員】福田牧子／堀部 壽／板垣 淳／佐藤文信

当委員会に付託された案件は、予算案3件、陳情3件の計6件でした。

令和4年度一般会計補正予算の総務部・内陸線再生支援室の審査では、秋田内陸縦貫鉄道の交付金349万円に対し、委員から「負担割合の説明があつたが、県と仙北市とを合わせると約1千万が交付されるという認識でよいか」との質疑があり、当局からは「3つを合わせた交付金は、1165万円になる」との答弁がありました。



地方創生臨時交付金での補正予算

財務部・財政課の審査では、令和3年度の雪害に伴う修繕工事の補正予算に対し、委員から「共済金が充当されるとのことだが、いくら充当される見込みか」との質疑があり、当局からは「雪害の共済金は、

工事費の100%充当される」との答弁がありました。

教育委員会・生涯学習課の審査では、阿仁合小学校の児童クラブの説明に対し、委員から「阿仁公民館の一部を改修し、児童クラブにするとのことだが、どこを改修するのか。また、阿仁合小学校を改修している間、一時的な設置なのか」との質疑があり、当局からは「阿仁公民館の和室部分の約半分を改修することとしている。設置は一時的なものではなく、次年度以降も使用していくことを想定している」との答弁がありました。以上のような審査を踏まえ、2件の財産区特別会計補正予算とともに全会一致で可決すべきものと決しました。

陳情では、3件のうち「沖繩を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情」に一部採択を求める発言があつたが賛成少数で否決とし、原案に対しては不採択、他の2件は採択すべきものとし、意見書を提出することと決しました。

(委員長 小笠原 寿)

市民福祉常任委員会 防犯街灯のLED化率は

【委員長】佐藤重光 【副委員長】三浦倫美 【委員】虻川 敬／佐々木正史／中嶋洋子／佐藤光子

当委員会に付託された案件は、予算案6件、単行議案1件の計7件でした。

令和4年度一般会計補正予算について、委員から「防犯街灯設置補助金について、北秋田市全体の自治会が所有している防犯街灯は、どの程度LED化しているのか」との質疑があり、当局からは「令和4年度当初で約55%のLED化率となっている」との答弁がありました。

また、委員から「保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業補助金について、その処遇改善というのは具体的にどのようなものか」との質疑があり、当局からは「私立保育園等で、概ね一人当たり月9000円、公立では会計任用職員について、1人当たり月9000円の処遇改善をする」ということで、国からの補助金の交付を受けて、それを手当てするものです」との答弁がありました。

以上のような審査を踏まえ、予算案6件は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

財産の取得（災害対応特殊救急自動車）について、委員から「北秋田市に高規格救急車は何台あるか。また、市外・県外の災害に応援に行つた場合、今ある救急車だけで対応できるのか」との質疑があり、当局からは「現在5台ありますが、一般の救急車と何ら変わりません。今回の救急車は、災害対応救急援助隊の出動車両に登録しますので、

他県からの要請があれば、緊急消防援助隊として出動することになります。出動している間も、現在ある救急車で対応できます」との答弁がありました。

以上のような審査を踏まえ、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

(委員長 佐藤重光)



災害対応特殊救急自動車

産業建設常任委員会 林道橋梁点検に国費の追加あり

【委員長】杉淵一弘 【副委員長】松橋久敏 【委員】永井昌孝／長崎克彦／福岡由巳／久留嶋範子

当委員会に付託された案件は、条例案1件、予算案3件、単行議案2件、陳情2件の計8件でした。

令和4年度一般会計補正予算の農業委員会関連では、委員から「タブレットの今後の使用方法」との質疑があり、当局からは「今後、国のシステムと連動していくことになり、主に農業委員が使用する。現地に向き、農地の出し手や受け手の意向を確認するなど、作業の効率化が図られる」との答弁がありました。

農林課関連では、林道橋梁点検診断について「点検が必要な林道橋梁の数はどれくらいか。また、どの程度の進捗状況か。点検の期間はあるのか」との質疑があり、当局からは「63橋のうち、当初は11橋を予定し、5年をかけて点検していく予定だったが、国費の追加により、10橋を前倒しで追加点検していく」との答弁がありました。

商工観光課関連では、「企業誘致に当たった企業が早くに撤退したが、何か罰則はあるのか。また、長く続けても

らうための条件は設けられているか」との質疑があり、当局からは「今回は、撤退した企業には奨励金の支払いはしていない。企業の経営方針に關与するのは難しいところがあるが、雇用の確保や事業の継続について、条件整備も含めて検討する必要があると考えている。罰則というものはない」との答弁がありました。以上のような審査を踏まえ、付託された条例案、予算案、単行議案については、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

陳情については「森吉山荘の営業継続を求める陳情」のほか1件を審査し、いずれも全会一致で採択すべきものと決しました。

(委員長 杉淵一弘)



営業継続を求める（森吉山荘）



■議員連盟…議員が特定の目的をもって結成する会のことをいいます。現在、本市議会には3つの議員連盟があります。

北秋田市議会

各議員連盟が総会を開催

森林・林業・林産業 活性化議員連盟

令和4年度北秋田市森林・林業・林産業活性化議員連盟（略称：林活議連）の総会が、6月28日に行われました。

総会では、市の森林、林業、林産業の活性化の実現に向け、3つの活動を重点課題として掲げた事業計画案及び予算案が提案され、全会一致で承認されました。

【会長】堀部 壽

【副会長】中嶋洋子

【事務局長】杉淵一弘

【幹事】小笠原 寿／佐藤重光

虹川 敬

【監事】板垣 淳／福岡由巳

商工会活動を支援する 議員連盟

北秋田市議会商工会活動を支援する議員連盟の定時総会が、6月28日に行われました。

総会では、北秋田市商工会との勉強会や商工関連の研究・視察などを実施することとした事業計画案と予算案が提案され、全会一致で承認されました。

【会長】堀部 壽

【副会長】中嶋洋子

【事務局長】虹川 敬

【幹事】杉淵一弘／小笠原 寿

佐藤重光

【監事】永井昌孝／松橋久敏

秋田内陸縦貫鉄道 北秋田議員連盟

秋田内陸縦貫鉄道北秋田議員連盟の定期総会が、6月28日に行われました。

総会では、念願の伊勢堂岱遺跡の世界遺産登録が決まり、コロナ後の特需景気への準備は周到に行わなければならないとした上で、事業計画案と予算案が提案され、全会一致で承認されました。

【会長】堀部 壽

【副会長】中嶋洋子

【事務局長】永井昌孝

【幹事】佐々木正史

【監事】虹川 敬／佐藤光子

※昨年度まで結成の「伊勢堂岱遺跡世界遺産登録推進議員連盟」は、目的の達成から一度解散し、新たな目的を設定しての結成を検討中です。

↓ 登壇順

永井 昌孝 議員 (P 6)

- ◆学校環境について
- ◆夏場のマスク着用について
- ◆中心市街地活性化について

久留嶋 範子 議員 (P 7)

- ◆子育て支援について
- ◆暮らし応援について

五代儀 義富 議員 (P 7)

- ◆災害(雪害)対策について

福田 牧子 議員 (P 8)

- ◆公共交通について
- ◆スポーツ振興及び観光振興について
- ◆投票所について

活かそう市民の声 市政を問う!

一般質問

一般質問は、6月20日・21日の2日間で行われ、8人の議員が登壇しました。

三浦 倫美 議員 (P 8)

- ◆公共交通の拡充を
- ◆「水田活用の直接支払交付金」の見直しを中止するよう国に要請を
- ◆危険空家対策の拡充を

長崎 克彦 議員 (P 9)

- ◆伊勢堂岱遺跡について
- ◆大館能代空港について
- ◆マイナンバーカードについて

板垣 淳 議員 (P 9)

- ◆森吉山荘の再開について
- ◆ヤングケアラー対策
- ◆学校統合について
- ◆職員の労働環境について

福岡 由巳 議員 (P 10)

- ◆奥森吉の観光振興について
- ◆地域公共交通について
- ◆オオシラヒゲ草について
- ◆ハローキティについて

永井 昌孝

(未来きたあきた)



QRコード



中心市街地の

活性化対策は

Q スクールバス民間委託による利用状況と学校行事でバス利用の際の経費負担の在り方は。

A 令和4年度から道交法の改正と安全確保のため、貸切バスによる委託運行を3路、市所有車両を貸与する形態で12路を業務委託し、学校行事でもバスを利用できるよう契約をしている。経費負担については保護者負担を求めているが、校外教育等に対しては、交通費や施設使用の補助金を交付し、保護者の負担の軽減を図っている。

Q 熱中症予防の観点から学校でのマスク着用をどう指導するか。

A 厚労省作成のリーフレットを配布し、体育の授業ではマスクを外すよう取り組み、運動量や状況に合わせ指導している。

Q 中心市街地の空き店舗対策の状況、アーケードの老朽化対策、今後の中心市街地の在り方は。

A 少子高齢化、人口流出が推計を上回る速さで進んでおり、事業主の高齢化や後継者不足などから空き店舗が散見している。中心市街地活性化のため、空き店舗支援を行っており、平成29年度から現在まで12件の店舗が利用している。今後もその他の支援事業も活用しながら地域の活性化、賑わいづくりを支援していきたい。アーケードは老朽化が進み安全な状態ではない。安全で快適な歩行空間を確保するため商店会と共に検討をしていく。テレワーク等の急速な発展など、数年後の予想が困難であるが、実施計画の中で課題を整理させていただきながら進めていく。



シャッターが下りたままの商店街

久留嶋 範子

(日本共産党議員団)



物価高騰から

市民の暮らし守れ

Q 世界的な情勢の悪化やコロナによって物流が不安定になり、物価の高騰が長期化している。市民の暮らしと営業に深刻な打撃を及ぼしている。今後どのような対策を考えているか。

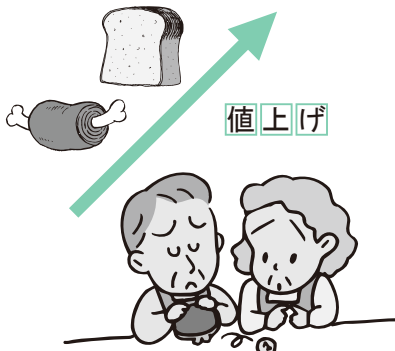
A 支援策については、中小企業等事業継続支援事業を実施しているほか、今議会に交通事業者への支援を提案しているが、国や県の動向を見極めながら必要な支援策を検討する。

Q 県内の自治体では、プレミアム付き商品券や現金給付を行っているところもある。当市での考えは。

A 商品券はこれまでの有効性を含め、臨機応変な取り組みをする。

Q 家庭への負担を軽くするため、子育て応援として給食費負担をゼロにできないか。

A メニューに使用する食材の変更などにより、購入価格が上がらないよう工夫し、必要な栄養を維持した給食を提供している。地域の生産者と連携することで学校給食の地産地消を推進する。今後も食材価格の高騰が見込まれ、高騰分に関する補助事業の活用を検討している。



夏以降も続く値上げラッシュ

五代儀 義富

(未来きたあきた)



災害時初期対応に

効果的情報収集を

Q この冬の豪雪被害について、把握している被害状況はどんなものか。その情報元はどこか。情報の検証はしたのか。

A 人的被害14件、住家被害21件、非住家被害21件の計56件。住民からの通報を受けて消防本部が調査した件数だが、報告のないものを含めると実際の被害はこれより多いと推測している。

Q 情報の共有・分析はされたのか。復旧支援策の予定はないのか。

A 1月19日に市災害警戒部を設置して各部署と情報共有の上、福祉の雪事業の増加を見込んで上限額の増額を図るなど支援を行い、防災ラジオ等で注意喚起を行った。支援策については、住宅リフォーム支援事業が役立ったと考えてお

り、これ以上の支援の考えはない。

Q 集計された被害件数が少なすぎるとい認識はないか。ある自治会では73戸中8戸に被害があったとの例もあり、市内1万戸を超える家屋の被害が、42戸というのは信憑性に欠ける。これは届出のない被害の扱いの問題と思われる。警戒基準は積雪量だとしても、災害対応は災害の有無が判断基準となるものであり、その為には届出を待たずに、市の調査でできるだけ被害を拾い上げて早期に実態の把握に努めるべきと考える。この点、改める考えはないか

A 自治会の役員等には、そうした被害の際の連絡をお願いしているが、どういった方法がより効果的か、来年度までに検討してみたい



有事に備えての災害対策本部運営訓練

福田 牧子

(公明党)



QRコード

高齢者の
移動手段支援を

Q 米内沢・阿仁前田・阿仁地域の
高齢化に伴う移動サービスとして、
フリー乗降区間設定バスやデマン
ド型タクシートの導入が必要では
ないか。

A フリー乗車区域の設定はバス業
者と協議する。デマンド型タクシ
ーの導入は、新たな「地域公共交
通計画」策定の際、市民の声を取
り入れながら検討し、交通弱者に
寄り添った施策に努める。

Q 北秋田市内の交通弱者に対する
NPO法人の互助による輸送は、
市民からの要請は大きい。事業が
困難。訪問支援サービスや生活支
援・介護予防サービスの市町村を
核とした支援体制は可能か。

A 現行のままの形態では、介護保
険からの補助は難しい。一般会計
からの補助についても既存の交通

業者との活動区域が競合して難し
いが、詳しくは相談してほしい。
Q 薬師山スキー場のTバーリフト
は、初心者やスノーボード利用者
には転倒の危険がある。チェアリ
フト整備の考えは。また、冬季以
外の利用として、ヒュッテを開放
してのカフェや産直、芝桜の植栽、
ドックランなどは。

A 転倒の問題は指定管理者による
指導と利用者の技術習得で解消で
きる。冬季以外のヒュッテ活用は、
指定管理者や関係機関と連携し、
研究していく。

Q 投票所のバリアフリーの推進を。
A 現場を確認し、できるだけ前進
するよう努める。障がい者等の投
票に不安がある場合、申し出によ
り記載台付近まで付き添い、見守
りは可能である。



バリアフリー化された投票所に

三浦 倫美

(日本共産党議員団)



QRコード

交通弱者への
対策強化を

Q 公共交通利用促進の取組みは。
A 「じょうもんバス」は順調に推
移しており、5月末現在の購入者
延べ人数は、65歳以上32人、65歳
未満38人。更なる周知に努める。

Q 交通弱者への対策強化を。
A 高齢者等交通弱者の多様なニ
ーズに対応するため、アンケート調
査や住民説明会等で声を拾い上げ、
バス事業者との協議を進めるほか、
新たな地域公共交通計画の策定に

乗車回数	11,000円～	17,000円～	23,000円～
4,000円	4,000円	11,000円	17,000円
8,000円	8,000円	17,000円	23,000円
12,000円	12,000円	17,000円	23,000円
16,000円	16,000円	17,000円	23,000円

「じょうもんバス」順調に推移

において、柔軟に検討していく。
Q 「水田活用の直接支払交付金」
の見直しによる影響の認識は。
A 国から「今後5年間に一度も水
張りが行われていない農地は、交
付対象水田にしない」などの方針
が示された。水稲と畑作物のブロ
ックローテーション、産地形成の
検討が必要となり、条件不利地の
耕作放棄地の拡大や離農者の増加
を懸念している。

Q 「水田活用の直接支払交付金」
見直し中止を国に要請すべきでは
ないか。
A 「JA秋田たかのす」から、実態
を踏まえた制度設計となるよう国
への働きかけの要請を受けている。
秋田県市長会でも、国に要請して
いる。県では生産現場に寄り添っ
た施策を国へ要望するとしており、
当市では大豆、そばに取り組んで
いる経営体に基礎資料となるアン
ケート調査を実施中である。

Q 危険空き家対策の拡充を。
A 所有者に管理義務があるこ
とから、市としては助言や指
導に努め、特定空家の所有者
に対して「特定空家等解体撤
去補助事業」の説明を行い、
予算の拡充も視野に早期解決
に取り組んでいく。

長崎 克彦

(清明会)



遺跡と空港三便化で
活力ある街を

Q 伊勢堂岱遺跡の活力で、地域活性化と交流人口の拡大を図るべきと思うが。

A 県と連携した記念事業や県主催イベントにも積極的に協力する。また、今年度は首都圏でのプロモーション活動を予定しているほか、イギリスのストーンヘンジデジタルセンターでの特別展にも縄文館展示品の貸し出しを予定している。このような機会を活かし交流人口を拡大していく。

Q 冬期間の来場者に対する対応と、体験などの考えは。

A 冬期間は直接遺跡を見ることができないが、縄文館にタッチパネル上で環状列石を見学しているかのような360度VR鑑賞システムを導入する。



伊勢堂岱遺跡を活用した地域活性化を

Q 羽田三便化を定着させるための大館能代空港利用促進協議会での対策は。

A 広報活動、修学旅行への助成、個人・企業への働きかけ等を積極的にを行い、利用促進に努めている。

Q 助成金を継続し、利用促進を図るべきと考えるが。

A 運賃助成のほか、市内に宿泊する旅行商品等の販売も行う。

Q マイナンバーカード普及促進の考えとメリットは。

A コンビニで各種証明書が取得できることや、国税の申告、健康保険証などのメリットがある。

Q 人口の何%を目標にしているか。

A 交付枚数は増加しているが、県平均の41%より低い状態なので、年度末までには県平均を上回るように取り組むとする。

板垣 淳

(日本共産党議員団)



森吉山荘の再開を

Q 4月から森吉山荘を「休止」したが、観光・地域活性化・利便性どれをとってもマイナスに作用している。そのため再開を求めている声が増えます。大きく聞いている。この声に応えるべき。

A 民間譲渡も含め施設の在り方を探っており、年内には方向性を示

したい。

Q 子どもが家庭で介護を担うヤングケアラーについて実態調査をし、対策をとるよう。

A 社会問題となっており、取り組んでいく。

Q 前田小と米内沢小の統合が計画されているが、学校は教育の場であると同時に、地域のコミュニティや防災など、さまざまな機能を併せ持つ施設でもある。統合して数を減らすということは地域の活力が低下するということでもある。したがって統合計画を作るにあたっては地域住民と十分に意見交換をして、合意を得てから進めるように。

A 3月に森吉地区で意見交換会を開いた。今後は前田小学区で説明会を開き、意見を聞いて統合計画を策定する。

Q 義務教育学校阿仁学園ができて7、8、9年生はそれぞれ1学年10人以下である。統合する理由は「人数が少ないから」だったが、統合してもこの問題は解決できない。対策は。

A 少人数によるきめ細かい指導ができるのを「強み」と考え、新たな学校づくりを進める。



再開の声が大きくなっている森吉山荘

福岡 由巳

(無会派)



森吉山荘は奥森吉の滞留型観光の要

Q 市長は、森吉山を中心とした滞留型観光の推進として、奥森吉の小又峡などを例に挙げ、森吉山の自然の素晴らしさを生かした情報発信に取り組むとしている。ところが、森吉山荘の休止により奥森吉の滞留型観光は困難になった。市長の新たな観光振興策は何か。

A 今後も観光客を魅了し続ける競争力のある観光エリアを目指していきたくと考えている。

Q 市長の施政方針である森吉山を中心とした滞留型観光の推進についての熱意は変わりないか。

A 変わっていない。

Q 森吉山荘が休止された現在、誘客には非常に厳しいと考えるが、市長は誘客増のための特別な構想はあるか。



市は突然、森吉山荘を休止

A これまでも誘客を図っているが、さらにPRに努めたい。

Q 森吉山荘が休止しても特別な構想はないようである。そして、森吉山荘と深く関わる太平湖・小又峡の新しいパンフレットができていない。どうするのか。

A 作成には助成するなり、市が印刷するなりしたいと思っている。

Q 次の防災について。これまで小又峡では、ベテランガイドや観光客の死亡事故が起こっている。森吉山荘休止後の新たな災害対策はどのようなものになっているか。

A 事故や遭難等の事案が発生した場合は、避難捜索に係る要綱等に準じて、必要に応じた現地本部等を立ち上げ、消防や警察等と連携しながら対応することとしている。

令和3年度 政務活動費の公表



政務活動費は、議員の調査研究活動の充実を図るため、議員活動に掛かる経費の一部を補助するもので、北秋田市では議員1人あたり月額1万を会派に交付しています。

また、会派に属していない議員については、月額1万円を議員個人に交付しており、いずれも年度終了後には、全支出の領収書を添えた収支報告書が作成され、残額については市に全額返還されています。

		新創会 (5人)	みらい (5人)	緑風・公明 (4人)	日本共産党 議員団(3人)	山田博康 (無会派)	福岡由巳 (無会派)	長崎克彦 (無会派)	計
収入	政務活動費	590,000	480,000	480,000	360,000	120,000	申請なし	120,000	2,150,000
	計	590,000	480,000	480,000	360,000	120,000		120,000	2,150,000
支出	調査研究費	63,553	95,380	68,480	0	0		0	227,413
	研修費	0	0	0	0	73,300		75,650	148,950
	広報費	0	0	0	0	0		0	0
	広聴費	0	0	0	0	0		0	0
	要請・陳情	0	0	0	0	0		0	0
	会議費	0	0	0	0	0		0	0
	資料作成費	0	0	0	0	0		0	0
	資料購入費	12,700	0	0	24,497	0		0	37,197
	人件費	0	0	0	0	0		0	0
	事務所費	0	0	0	0	0		0	0
	計	76,253	95,380	68,480	24,497	73,300		75,650	413,560
残額		513,747	384,620	411,520	335,503	46,700		44,350	1,736,440

第3回臨時会

令和4年度 一般会計補正予算

3億9372万8000円を追加



第3回臨時会が5月24日に開かれ、上程された予算案2件と工事請負契約の締結や財産の取得などの単行議案6件を審議し、すべての議案を全会一致で原案のとおり可決しました。

◆第3回臨時会の議事

- 令和4年度一般会計補正予算
- 令和4年度水道事業会計補正予算
- 工事請負契約の締結
(消防署統合分署新築工事)
- 財産の取得(ロータリ除雪車2.2m幅/鷹巣)
- 財産の取得(ロータリ除雪車1.5m幅)
- 財産の取得(除雪ドーザ11t級)
- 財産の取得(ロータリ除雪車2.2m幅/阿仁)
- 財産の取得(除雪ドーザ14t級)

《一般会計補正予算の主な事業》

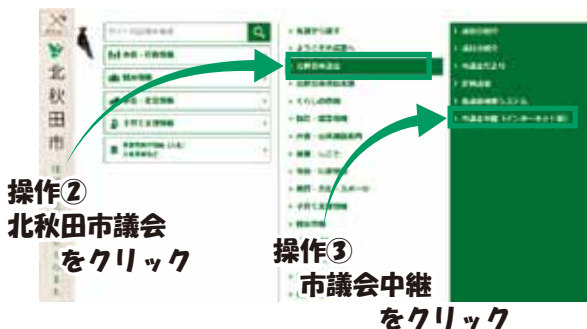
- ▷北秋田市中心企業等事業継続支援事業
1億3,344万1000円
- ▷子育て世帯生活支援特別給付金(低所得の子育て世帯) 2,816万8000円
- ▷新型コロナワクチン接種事業(4回目接種)
3,119万2000円
- ▷観光施設新型コロナウイルス感染症防止対策事業 1,059万3000円
- ▷市有施設・避難所等感染拡大予防事業
1,661万6000円
- ▷新型コロナウイルス感染症に関する自費検査費用補助金 70万円
- ▷新型コロナウイルス感染症に関する修学旅行キャンセル料補助金 134万円
- ▷世界遺産「伊勢堂岱遺跡のXR化」事業
3,771万9000円

パソコン

〔北秋田市ホームページ〕



操作① メニューをクリック



操作② 北秋田市議会
をクリック

操作③ 市議会中継
をクリック

スマートフォン・タブレット

①QRコード読み取りアプリを起動して
下のQRコードを読み取る



生中継・録画映像
配信先QRコード

画面が切り替わりましたら、再生ボタン
を押してください。

〔議会中継のページへ〕



操作④ 再生をクリック
(本会議の生中継をご覧いただけます)

本会議の生中継や録画映像が
スマートフォンやパソコンなどでご覧いただけます

全国市議会議長会表彰

6月定例会初日の冒頭、第98回全国市議会議長会定例会において表彰された2名の議員に表彰の伝達を行いました。

伝達式では、堀部議長から受賞者に表彰状が手渡されると、議員や当局の出席者からは拍手が送られ、長年にわたり地方自治の発展と振興に尽力された功績をたたえました。

【20年以上特別表彰】板垣 淳 議員
【正副議長一般表彰】佐藤重光 議員



板垣 淳 議員



佐藤 重光 議員



黒澤芳彦 前議長に表彰の伝達 ～正副議長一般表彰～

正副議長一般表彰を受賞された黒澤芳彦前議長への表彰状の伝達が、6月20日に議長室で行われました。



議会の動き

<4月1日～7月15日>

4月

- 5日・議会運営懇談会
- 11日・世話人会
- 18日・第2回臨時会
・広報特別委員会

5月

- 10日・広報特別委員会
- 16日・広報特別委員会
- 17日・議会運営委員会
- 19日・大館能代空港利用促進協議会総会
- 24日・第3回臨時会
- 25日・全国市議会議長会第98回定期総会／各委員会合同会議
- 27日・全国民間空港所在都市議会協議会定期総会
- 27日・令和4年度地域高規格道路大曲・鷹巣道路整備促進期成同盟会通常総会

6月

- 2日・議会運営委員会
・令和4年度八戸・能代間、北東北横断道路整備促進期成同盟会総会
- 3日・令和4年第2回北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合議会臨時会
・令和4年度能代港湾振興会総会／令和4年度能代港洋上風力発電拠点化期成同盟会総会
- 6日・議会運営委員会
- 16日・本会議
・広報特別委員会
- 20日・本会議 一般質問①
- 21日・本会議 一般質問②
・議会運営委員会
- 22日・総務文教常任委員会
・市民福祉常任委員会
・産業建設常任委員会
- 28日・6月定例会（最終日）
・議会運営委員会

7月

- 11日～13日・議会運営委員会（所管事務調査）
- 12日・広報特別委員会

あて先 〒018-3392
北秋田市花園町19番1号
北秋田市議会事務局

メール
gikai@city.kitaakita.akita.jp

●FAX
0186-62-4845

対象 市内在住又は通勤通学をしている方

方法 手紙、FAX、メール（文字で読める形式のもの）

公表 ご意見をホームページや広報紙で公表する場合があります。

市議会へのご意見を募集しています

委員長 五代儀義富
副委員長 福岡由巳
委員 佐々木正史
委員 久留嶋範子
委員 中嶋洋子
委員 佐藤文信

広報特別委員会

議会を傍聴してみませんか

市議会では、皆さんの生活に直結した重要な問題を審議しています。開かれた議会を目指し、どなたでも本会議の傍聴が可能となっていますので、市議会の活動状況をぜひご覧くださいようお待ちしております。